

いのちの言の葉 2017

富山県教育委員会 平成29年度いのちの教育総合支援事業

いのちの先生「助産師」③

「生きている」を考える
舟橋村立舟橋中学校
平成29年6月22日実施

富山市立岩瀬中 9/29、舟橋村立舟橋小 12/1
でも、いのちの授業が行われています。

【授業の概要】

- ① どんなふうにもまれてきたのか
- ② 思春期について
- ③ 性とは何か
- ④ 自分が生まれてきた意味って何だろう



(家族へ)

僕を産んでくれてありがとう。お母さんが産んでくれたこのいのちを一生大事にしようと思います。

(保護者より)

生まれてきてくれてありがとう。出産予定日を過ぎてもなかなか産まれる気配がなく、お父さん、お母さん、それにおじいちゃん、おばあちゃんも、まだかまだかと産まれてくるのを待っていました。予定日を10日ほど過ぎてからの出産で、3428gの大きな赤ちゃんでした。入院中は11月で、まれに見る大雪でしたが、退院する日は快晴で、これからのあなたの人生のように晴れわたっていました。

(家族へ)

今まで私を育ててくれてありがとう。いのちの授業を受けて、ママがとても大変な思いをしながら私を産んでくれたことが分かり、本当に感謝しています。

もうすぐ、生まれてから15年がたちます。ちゃんとママに「ありがとう」って言えるようになります。

(保護者より)

あなたは小さい頃から身体が丈夫で風邪もひかない元気な子でした。ママが夜勤で夜いなくても、いつも泣かずにいてくれました。

あなたがいるから、あなたの笑顔があるからママは毎日頑張っていける。約束します。ママがいのちをかけて、これからもあなたのことを守っていきます。あなたは世界で一番大切なママの宝物です。